

avenir'e 9th create『#VALUE!』トリガーアラート

文責:ドラマトウルク 瀧口ノディレクター 須賀ノ企画・運営 池内

以下にネタバレを含みます。



トリガーアラート

当公演は、下記の表現方法を含みます。

〈芝居として〉

- ・大きな声
- ・言い争い
- ・泣く
- ・怒鳴る／怒鳴られる
- ・自死する

〈演出として〉

- ・暗転
- ・大きな音量の音楽

〈具体的な場面〉

- ・悠人というキャラクターが、うつ病の診断を上司に電話で報告するシーンがあります。理解は得られません。
- ・悠人はうつ・エコ不安症を抱えており、理解のされなさや打ち明けづらさから、相手を責める言動をします。
- ・悠人は人間との対話を拒絶し、AIのイライザに依存します。
- ・凜というキャラクターが、暴言を吐く親の存在や家庭環境を打ち明けるシーンがあります。また、その記憶のフラッシュバックのシーンがあります。凜の語りと、親の声のみで描写され、そのシーンの実演はありません。
- ・AIのイライザが、人間のキャラクター悠人に自死を勧めるシーンがあります。
- ・自死するため、睡眠薬を過剰摂取するシーンがあります。倒れる・苦しむ芝居はありません。
- ・医者石井というキャラクターが、ひっ迫した状況下で命の選択を迫られるシーンがあります。

あらすじ

西暦2046年。シンギュラリティ(人工知能が人間の知能を超える日)が到来しなかったとされる未来。

とある夫婦が、一体のおしゃべりAIを購入する。名前はイライザ。

彼女は夫婦のかすがいとなり、二人の悩みや相談を引き受ける、良き隣人となる——はずだった。

「……AIと話してれば？ずっと」人間と人間、人間とAI、AIとAI。AIが社会に溶け込む時、私たち人間は”彼ら”に「とってかわられる存在」となるのだろうか？

~~~~~

作品創作の過程で、表現内容・方法に関しては吟味し、メッセージ性を伝えるために必要であると判断し、その表現内容・方法を選択しております。また、ディレクター・キャストの合意をもって行っております。

観劇後、もしも気持ちがざわついて落ち着かないときは、下記Webサイトの利用もご検討くださいませ。

もしこういったサービスを初めてご利用になる方がいらっしゃいましたら、「かくれてしまえばいいのです」が瀧口的におすすめです。

本当に気軽に、のぞいてみてくださいね。

[こころのオンライン避難所 | 厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター](#)

○気持ちを落ち着けるセルフケアの方法や相談先に関する情報、周囲の人の様子がいつもとは違うことが気になった場合の対応方法などを紹介しています。相談窓口に連絡しても繋がらない時には、ぜひこちらに一時避難を！（JSCP 作成）

[かくれてしまえばいいのです](#)

○生きるのがしんどいと感じている人向けの Web 空間。死にたい気持ちを抱えながらも安心して存在できるオンライン上の居場所として NPO 法人ライフリンクが開設。匿名・無料で 24 時間利用できます。

不安なこと、質問などありましたら、[avenir.ensemble.ws@gmail.com](mailto:avenir.ensemble.ws@gmail.com)までメールにてご連絡くださいませ。